

専修大学は、
挑戦する意欲を持った
すべての学生を応援します。

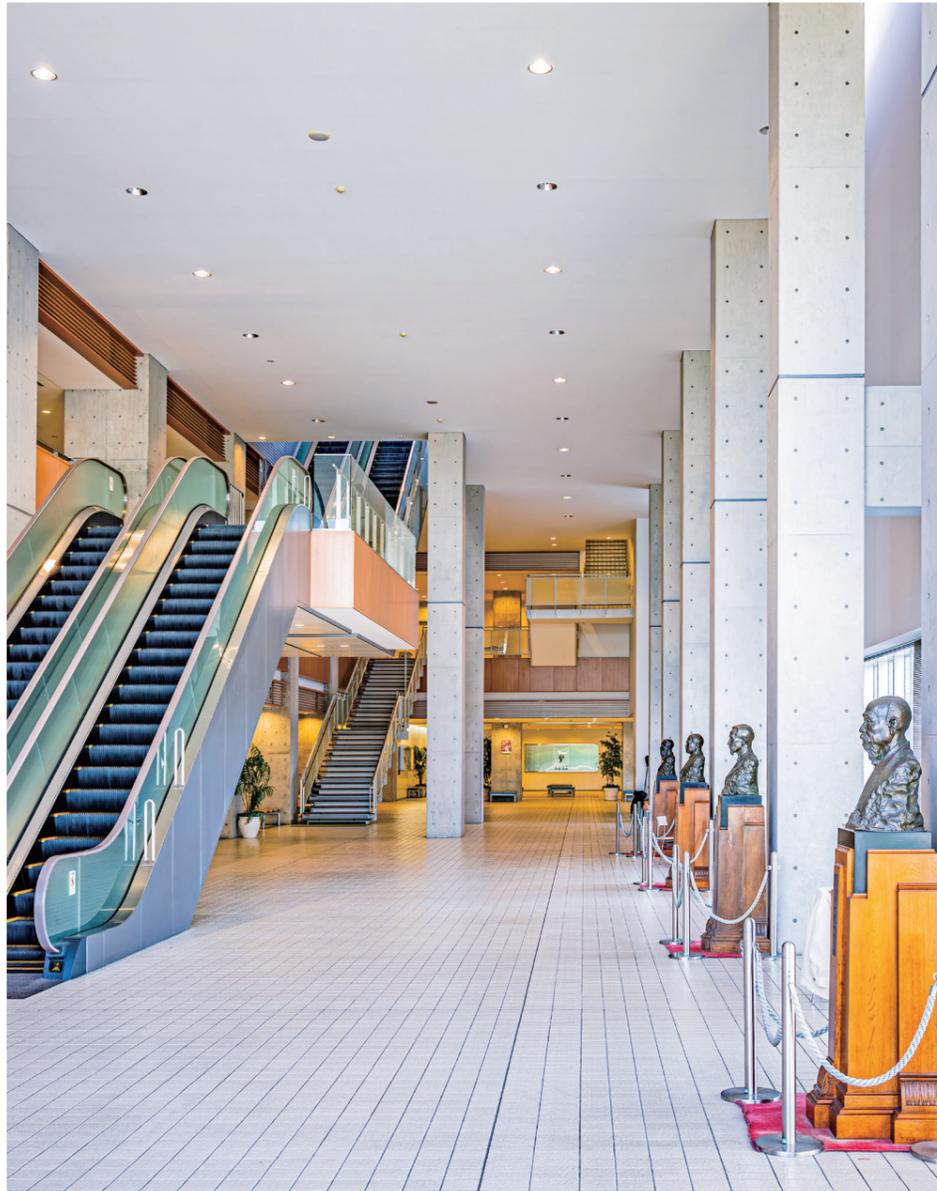
専修大学は、21世紀ビジョンとして

「社会知性(Socio-Intelligence)の開発」を掲げています。

社会知性とは、「専門的な知識・技術とそれに基づく思考方法を核としながらも、

深い人間理解と倫理観を持ち、地球的視野から独創的な発想により

主体的に社会の諸課題の解決に取り組んでいける能力」です。



DeKiru Kanau Hiraku
EXTENSION CENTER
SENSHU UNIVERSITY



www.senshu-u.ac.jp



会計士講座

ACCOUNTANT

2024

エクステンションセンター

【生田校舎】〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1 TEL:044-911-1268 FAX:044-900-7820
【神田校舎】〒101-8425 東京都千代田区神田神保町3-8 TEL:03-3265-6208 FAX:03-3265-5975

2024年度入学生用

COURSE GUIDE 2024

ACCOUNTANT

会計士講座

自分の実力で、
人生を切りひらく。



SENSHU UNIVERSITY

FIND YOUR DREAM!

自分の実力で、人生を切りひらく。
スキルが可能にする未来がある。



主催/専修大学エクステンションセンター 提携/大原学園

INDEX

- 01 目次・学長メッセージ
- 02 講師からのメッセージ
- 03 公認会計士の「中身」を知ろう!
- 04 会計士講座について
- 05 会計士入門講座(会計士コース・簿記コース)
- 07 会計士入門講座(選抜個別コース)
- 08 会計士上級講座/会計士特別プログラム
- 09 合格者からのメッセージ

Message from the President 学長メッセージ



専修大学長
佐々木 重人

自信と誇りとチャレンジ精神を!

本学は、明治維新後、アメリカのハーバード大学、ユール大学、コロンビア大学、ラトガース大学に留学した4人の若き創立者たちによって、明治13年に創立されました。日本初の経済科、私学

初の法律科を置く私立専門学校であり、五大法律学校としての歴史を有しています。そして、創立以来今日まで、高等教育機関としての役割を果たしてきました。専門教育により近代日本の人的基盤を整備しようとした創立者たちの熱き思いは、今日では「社会知性の開発」という本学の21世紀のビジョンの中に継承されています。新入生の諸君にあっては、本学が私学教育の先駆けとして重要な役割を果たしてきた伝統校であることを認識し、自信と誇りをもって大学生活に精進してもらいたいと思います。大学は自己の可能性を追求する場です。本学のエクステンションセンターでは、平成13年度から「会計士講座」を開講し、多くの合格者を輩出するとともに、今も

学部学科を問わず沢山の受講生が目的意識をもって学んでいます。公認会計士をめざす学生諸君は、この講座を利用することによって、経済的にも時間的にも有意義な学生生活を送ることができると思います。本学の創立者たちの熱き思いに誇りを持ち、何事にもチャレンジ精神をもって取り組み、自己変革を遂げてくださることを期待しています。必ずや、意志あるところに道は拓かれます。専修大学は学生を全力で応援します。

※本誌は2024年度入学生向けの講座実施体制を掲載しているため、2025年度以降の入学生に対しては、講座の内容を変更する可能性があります。
※メッセージを掲載している受講生、合格者の学年は2023年度のものであります。

Messages from Lecturers 講師からのメッセージ



総合プロデューサー
二葉 穰先生

一人ひとりと真剣に向き合う受験指導の経験と長年にわたる公認会計士試験の傾向分析を基に、多くの学生を合格に導くメソッドを提供する。

公認会計士試験合格のための最適な受験環境を提供しています

この度、専修大学に合格されましたこと、誠にありがとうございます。これからの4年間に、期待と不安の入り混じった気持ちではないでしょうか。大学生活、何をしますか。アルバイトでお金を稼ぎ、サークルや友人と遊んでエンジョイする。4年間という限定した期間だけを充実させるのであれば、それの一つかもしれません。ただ、その先

には社会人としての長い人生があります。ただ4年間で充実させるのではなく、人生を充実させるためのスタートとして大学生活を過ごしてみたいかがでしょう。将来を見据え、自分の目指すべきものを決め、それに向かって、メリハリのついた大学生活を過ごす。そんな大学生活を送ってみませんか。大学生活を力強く生きてみませんか。ここで、ビジネスライセンスの最高峰と言われる公認会計士の資格をご紹介します。公認会計士にしかできない独占業務が監査業務です。これは財務諸表と呼ばれる企業の成績表(とれくらい儲けたかやとれくらい財産があるかが分かる書類)が正しいかどうかをチェックする仕事です。大きな会社にはたくさんの利害関係者がいます。たとえば、その会社の株主や銀行などです。こうした利害関係者は財務諸表の情報をもとに株を持ち続けるかどうか、お金を貸すかどうかを判断します。言い替えば財務

諸表の情報が正しくないと株取引やお金の貸借が成立しなくなります。そこで公認会計士が第三者の立場から正しいかどうかチェックするのは、社会のインフラとして不可欠な業務を遂行するのが公認会計士といえるでしょう。公認会計士試験は難しい試験です。だからこそ、価値があります。社会的な評価、信頼が得られます。そしてその対価を得られます。我々は皆さんに会計の知識だけではなく、正しい勉強方法をお伝えしてまいります。公認会計士試験は「正しい勉強を継続する」ことができれば誰もが合格できる試験です。本気で公認会計士を目指してみませんか。



入門講座 会計士コース・簿記コース
(簿記初学者対象)担当
土屋 雄嗣先生

目の前にあるチャンスを掴みましょう!

会計を学ぶ上で簿記(帳簿記入の略)の知識は不可欠です。簿記初学者の方からは「数学が苦手なので…」「普通高校出身者は公認会計士試験に合格できないですよね?」とご相談・ご質問を受けます。いえ、いえ。ご安心ください。講座受講生の9割以上は簿記未経験者ですが、簿記検定試験の全国合格率を毎回大幅に上回る合格実績のある講座です。また、公認会計士試験の合格者の

出身高校をぜひご覧ください。この講座から多くの普通高校出身合格者も輩出されております。少しでも会計に興味がある方は、受講をお勧めいたします。ここ数年簿記検定は3級でも独学合格は難しくなっています。合格のためには「科目の性質・出題傾向」なども考えた取り組みが必要です。この講座では、会計上位級受験のために「資格試験での姿勢・戦い方」について簿記3、2級受験を通じてマスターします。「どのような思考が必要なのか」「何をすればよいのかを考え行動に移す」等を身につけて2年目以降の公認会計士の勉強へ繋げていきます。公認会計士は皆さんが将来やってみたいと思いつく10倍以上の事が可能な職業です。すでに目標に向けて動いている新入生もいます。さあ、目の前にあるチャンスを逃さないでください。一緒に合格へ向けて頑張りましょう。



入門講座 選抜個別コース
(簿記学習経験者対象)担当
石垣 保先生

大学2年次での試験突破も目指せます

専修大会計士講座では、高校までに簿記の学習経験のある方で公認会計士を目指す方にとって最適なカリキュラム(選抜個別コース)をご用意いたしております。このコースでは、簿記の学習経験者たるアドバンテージを活かし、公認会計士試験制覇に向けた前哨戦として、11月の日商簿記検定1級に挑戦していただきます。正直、ハードな目標ですが、これに挑戦し弾みをつ

けていただき、最終的には、専修大学在学中の公認会計士試験制覇を目標にしていきます。なお、高校までに既に日商簿記1級に合格されている方を対象とした特別なプランも用意いたしております。このプランでは、大学1年次の12月に公認会計士試験の短答式試験に挑戦していただくことを目標としており、大学2年次で公認会計士試験の論文式試験の受験資格を得ることにより、専修大学在学中の公認会計士試験合格の可能性をさらに高めていきます。また、学習意欲旺盛な方を対象とした理論科目先行学習プランもございます。これらのプランでは、あわよくば大学2年次に公認会計士試験を制覇することも不可能ではありません。専修大会計士講座の選抜個別コースでは、やる気のある方のチャレンジを心よりお待ちしております。



What is a certified public accountant?



公認会計士の「中身」を知ろう！
社会のトップで活躍する、会計のプロフェッショナル

公認会計士とは

公認会計士(Certified Public Accountant 略称CPA)は、1948年、公認会計士法の制定に伴い誕生しました。企業がビジネスをしていく上で、絶対欠かさない財務書類の監査・証明等を請け負うのが公認会計士の主要な仕事です。とても高度な専門知識とスキルが要求される職業で、社会になくはならない大切な仕事です。試験合格後、一般的には監査法人、公認会計士事務所、コンサルティング・ファームなどが就職先として考えられますが、最近ではビジネスの多様化・国際化が進むとともに大きな法改正・制度改正が続き、企業経営に会計的スキルと法令遵守(compliance)が要求される時代となったため、公認会計士が活躍する舞台は経済社会のあらゆる場面に拡大してきました。

公認会計士の業務内容

▶ 監査

公認会計士だけに許された資格業務です。企業は決算書類(財務諸表)を作成し、株主や投資家、銀行に対して自社の財務・経営状況を公表しますが、公認会計士は、株主や一般投資家、債権者に代わって利害関係のない第三者として、財務書類に虚偽や不備がないかを厳正な目で確認し、証明します。

▶ コンサルティング

企業の立場に立って、会計や経営戦略の調査・立案・指導を行うのがコンサルティング業務です。近年では会計に関するプロとして公認会計士の助言が求められる場面が増えています。さらに、会計以外の専門分野にも知識を広げ、その能力を存分に発揮している公認会計士も注目を浴びています。

▶ 税務

公認会計士は登録するだけで税理士の資格も取得できます(税理士法第3条)。税務書類の作成から税務相談など税務面でも幅広い活躍の場がおのずから開けるわけです。近年では海外進出を目指す企業から、各国の税制などへの対処法について助言を求められる機会も多く、「国際税務」への関心が急速に高まっています。

公認会計士の試験制度



Introduction 会計士講座について

合格までの専大カリキュラム

専大カリキュラムは、大原学園との提携により、公認会計士試験科目の知識が全くない人でも着実にレベルアップが図れる内容となっています。また、日商簿記検定3級以上の学習経験者には、入学後すぐに公認会計士試験の学習を行う「選抜個別コース」を用意していますので、時間を無駄にすることなくハイレベルな学習が可能です。

会計士講座の概要

■ 講座の目的

会計関係資格(公認会計士、日商簿記検定等)に興味をもつことにより、公認会計士に向けた勉強へと導き、在学中の公認会計士試験合格を目指します。

■ 講座の特徴

1. 大学の授業を考慮したスケジュール

1年目は講座の大部分を大学の校舎で実施するため、大学の授業との両立がしやすく、無駄のない学習ができます。

2. 簿記学習経験者への対応

講座開始段階で簿記の学習が進んでいる受講生には、「選抜個別コース※P07参照」を設けています。

3. 費用面のサポート

成績や出席状況が特に優秀な受講生には、「奨励生制度(選抜制)※P05参照」を設けており、費用面でのサポートを行っています。

■ 講座の内容

入門講座(会計士コース・簿記コース)

8月までは、会計士コース・簿記コースともに日商簿記検定3級・2級対策を行います。9月以降は日商簿記検定2級的答案練習と、会計士コース受講生を対象に公認会計士試験の計算科目である財務会計論・管理会計論の学習を進めます。

1年目

入門講座(選抜個別コース)

公認会計士を目指す1年次生で日商簿記検定3級以上の学習経験者が対象となります。11月の日商簿記検定1級合格を中間目標とし、開講当初から専修大学神田校舎で公認会計士試験科目である財務会計論、管理会計論の学習を進め、11月の検定以降は、企業法を加えた3科目を学習します。

2年目

上級講座

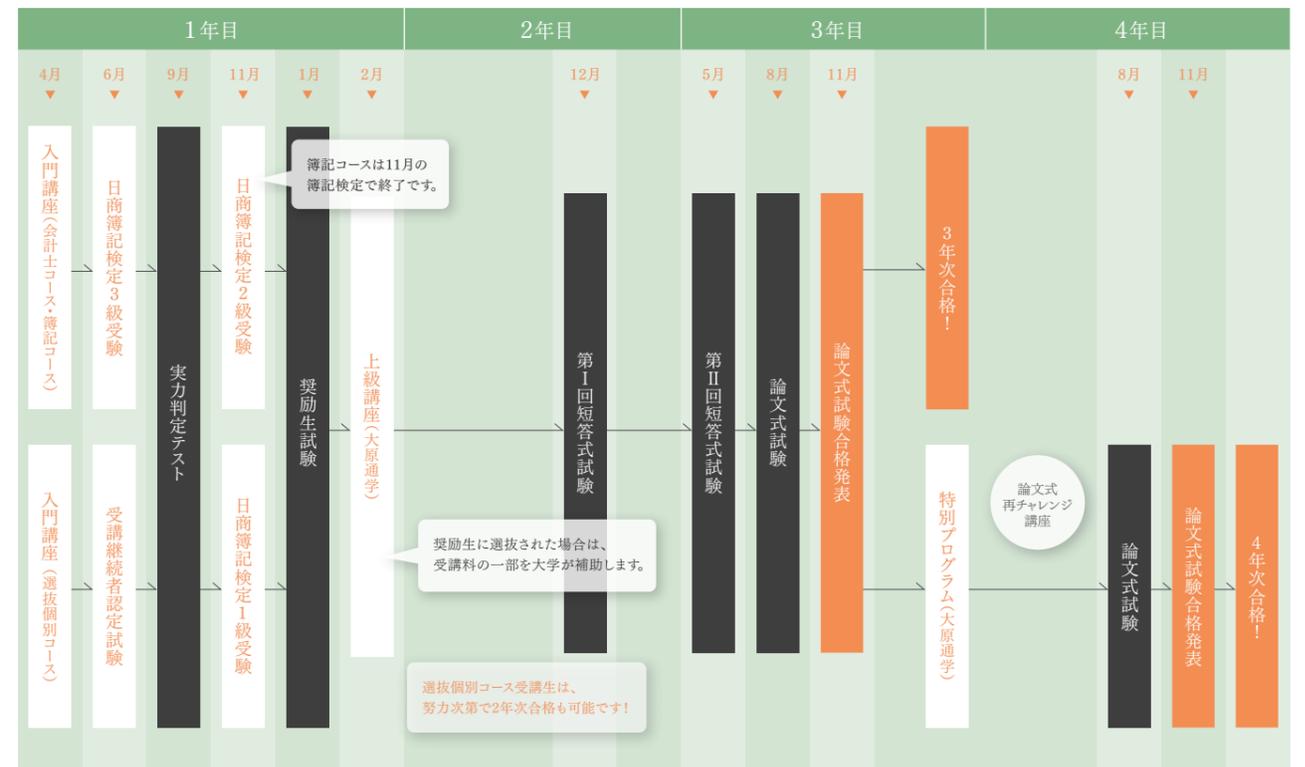
大原学園に通学し、「1.5年オータム初學者合格コース」または「1.5年ウィンター初學者合格コース」を受講して、12月の短答式試験、翌年8月の論文式試験合格を目指します。なお、1年目の「入門講座」で奨励生に選抜された人の受講料の一部を大学が補助しますので、費用面の負担が軽減されます。

フォローアップ

特別プログラム

3年次生以下の短答式試験合格者を対象とします。論文式試験科目(会計学・企業法・監査論・租税法・選択科目)を大原学園の「上級論文総合合格コース」で学習し、最終合格を目指します。

Curriculum カリキュラム内容



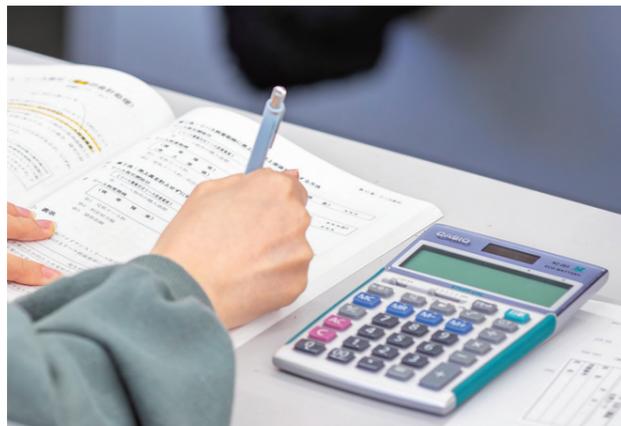
会計士入門講座

夢へのスタートライン。目標に向かって走り出す。
(会計士コース・簿記コース)

Information(予定)

- 開講場所
神田校舎・生田校舎
- 開講期間
4月中旬～翌年2月上旬
- 開講日数
週3日程度
- 定員
各校舎200名
- ガイダンス
4月上旬
- 受講料
会計士コース:93,000円
簿記コース:69,000円

※簿記コースは11月の日商簿記検定2級合格を目指す講座設定になっています。簿記コース受講生で講座の継続を希望される場合は、会計士コースへのコース変更ができます。(別途追加受講料が必要になります) ※一部オンライン(Web)講義で実施します。 ※曜日・時間はガイダンスにてお知らせします。 ※一旦納入した受講料は、どのような理由があっても返金できません。 ※夏特訓・実力判定テスト・年末計算特訓・奨励生試験は神田校舎で実施いたします。生田の学生は前記期間のみ神田校舎へ通学していただきます。



入門講座カリキュラム

公認会計士試験のイントロダクションとなる講座です。簿記検定取得を初期の目標としつつ、週3回程度のペースで講座を進めていきます。会計の初心者から、着実にステップアップできるよう講義が進行します。通常講義に加え、「夏特訓」、「年末計算特訓」、「個別面談」など常に受講生の学習意欲が維持できるフォロー体制を整えています。なお、成績や出席状況が特に優秀な受講生に対しては、2年目の講座費用の一部を大学が補助する「奨励生制度(選抜制)」を設けています。

■ ヤル気を引き出す特別フォロー体制!

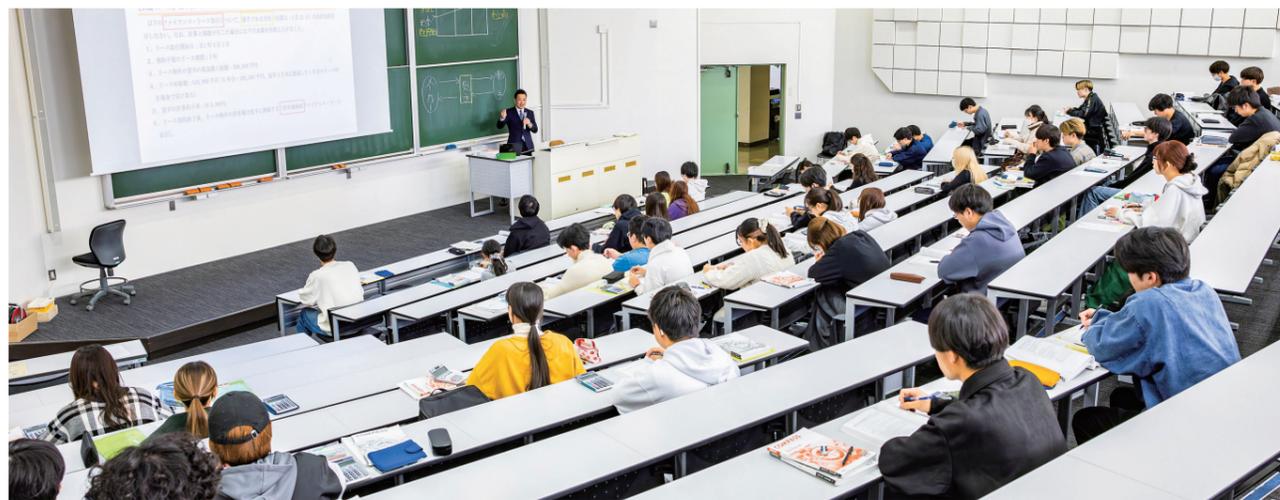
- POINT 01** 1年目は学内で実施

1年目はほとんどの講義を学内で実施するので、大原学園への移動時間や交通費もかかりません。また、大学の授業を考慮してスケジュールを組んでいるので、授業との両立もできます。
- POINT 03** 公認会計士試験科目を強化

9月から日商簿記検定2級の答案練習と並行して、「財務会計セレクト」、「管理会計セレクト」の学習を行い、公認会計士試験の計算科目を強化します。(会計士コースのみ)
- POINT 02** 日商簿記検定3級・2級の学習からスタート

会計の初心者からでも始められるよう、まずは6月に日商簿記検定3級、11月に2級の取得を初期の目標にしているので、安心して学習をスタートできます。
- POINT 04** 充実したフォロー体制

「夏特訓」、「年末計算特訓」、「個別面談」などのフォローにより、常に受講生の学習意欲が維持できる体制を整えています。



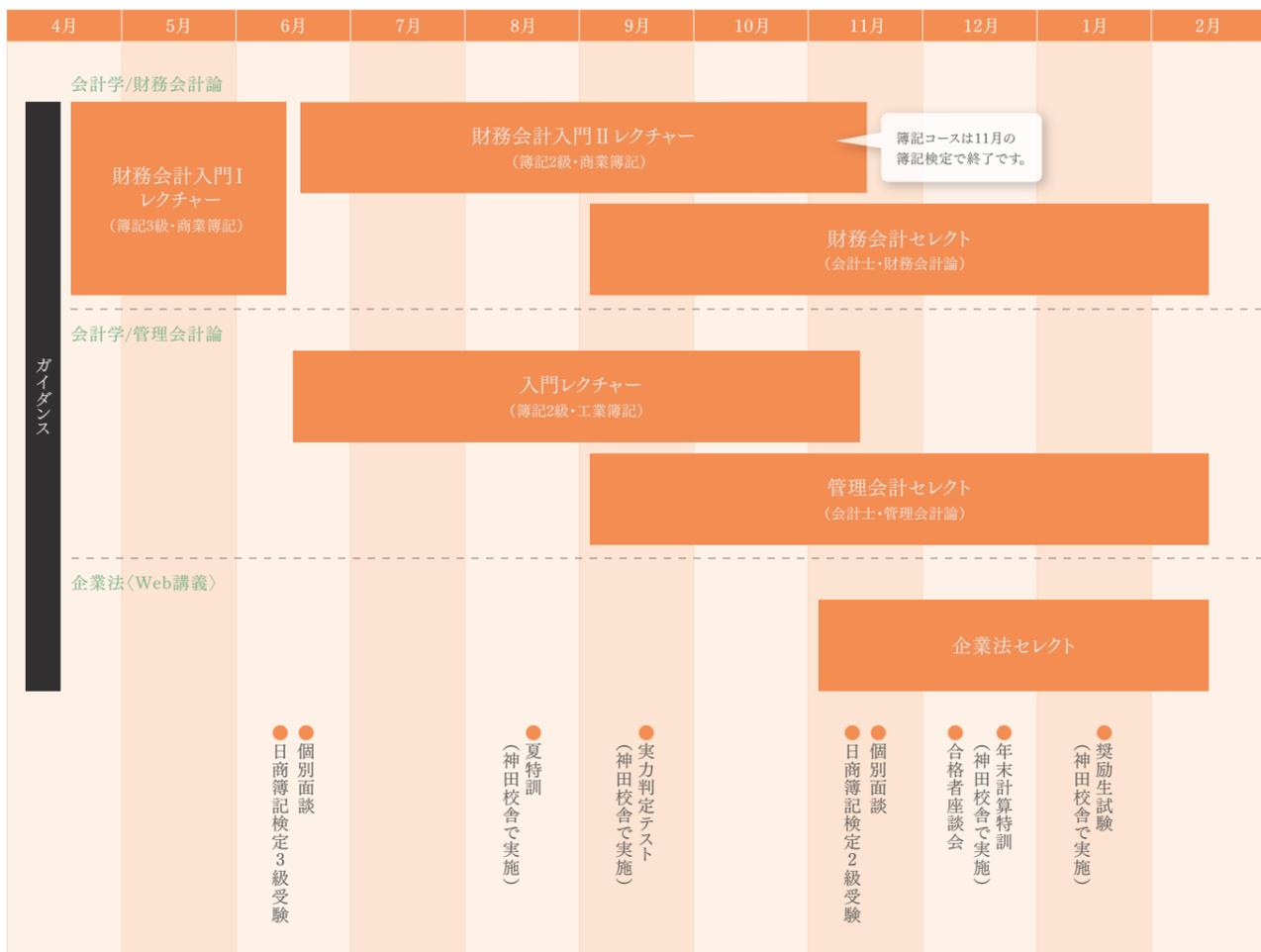
奨励生制度

講座の途中で奨励生を選抜!

本講座では、講座を熱心に受講し、成績が特に優秀であり、公認会計士試験合格への熱意をもつ受講生を奨励生として選抜しています。奨励生に選抜されると、2年目の会計士上級講座の受講料(約59万円)の一部を大学が補助しますので、費用面の負担が軽減されます。選抜にあたっては、奨励生試験(筆記試験・面接試験)、簿記検定の成績、日頃の講座出席状況などから判定します。



Schedule スケジュール(予定)



会計士入門講座受講生

経済学部
生活環境経済学科
(埼玉・城西大学付属川越高校出身)

國田 大智さん(1年)



理数系が苦手でも、学び続けるうちにひきこまれる講座

大学生活で何か一つ頑張った実績がほしくて、経済学も会計士という仕事も自分の将来に役立つと思ひ勉強しています。実は理数系は苦手な、初めは講義についていくのに苦労しましたが、意識を集中して受講し続けることで面白みも感じられるようになりました。財務会計論、管理会計論、企業法と学んでいますが、私は、株式会社はどんなもので、監査とはどんなことをするのか知ることができる企業法が興味深いです。対面だけでなく動画の講義もありますが、メールで講師へ直接質問や相談でき、1対1の面談も可能なので、一方通行の学びにはなりません。一番の目標は3年次での公認会計士試験合格ですが、学習期間が長いのでその過程で目の前に現れる課題を1つずつ着実にクリアしていきたいと思っています。「この資格は勉強をしていけば絶対に受かる資格だ」と講師が言ってくれるので、努力は裏切らないと信じて実を結ばせたいと思います。

1年目 About the 1st year curriculum

会計士入門講座

スタートダッシュ、よりはやく、より先へ。
(選抜個別コース)

Information(予定)

- 開講場所 神田校舎及び大原学園東京水道橋校
- 開講期間 4月中旬～翌年2月上旬
- 開講日数 週3~4日程度
- 定員 40名
- ガイダンス 4月上旬
- 受講料 93,000円
- 開講条件
 - ①公認会計士を目指す意志があること。
 - ②日商簿記検定3級以上の学習経験があること。
 - ③1年次生であること。
 3点をいずれも満たした者

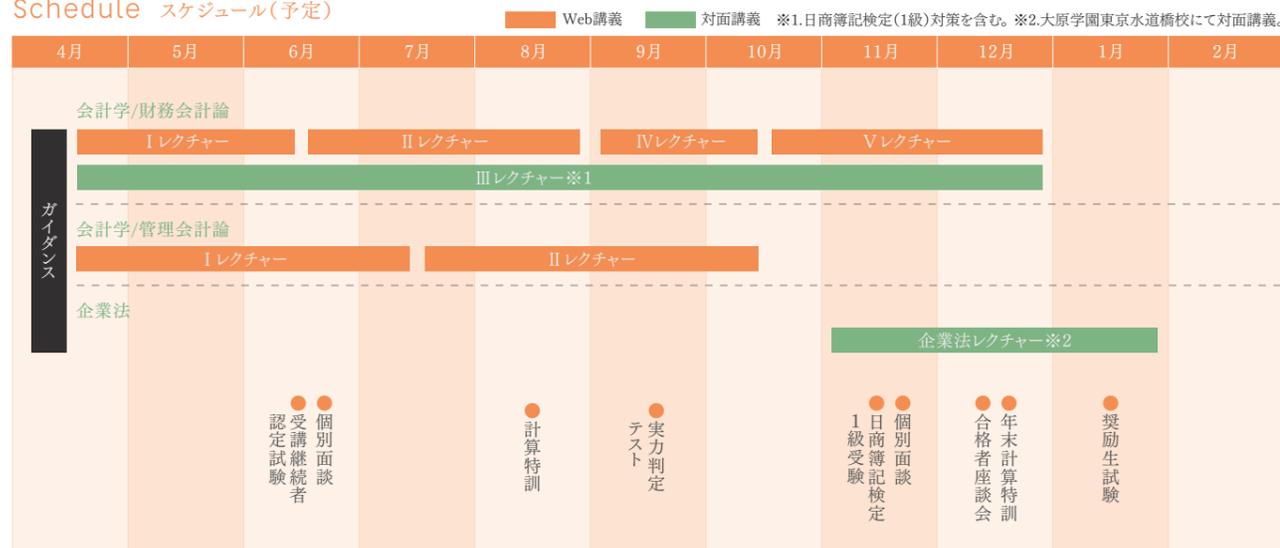
※6月以降の講座の受講には、6月に実施する「受講継続者認定試験」の合格が必須となります。※「受講継続者認定試験」不合格者は、「会計士入門講座(会計士コース)」の受講に振り替えていただきます。※一部オンライン(Web)講義で実施します。※曜日・時間はガイダンスにてお知らせします。※一旦納入した受講料はどのような理由があっても返金できません。



選抜個別コースカリキュラム

日商簿記検定3級以上の学習経験がある1年次生を対象とし、確実かつ早期に公認会計士試験合格を目指す講座です。開講当初から、公認会計士試験の計算科目である「財務会計論」、「管理会計論」の学習を週3~4回程度のペースで進め、学習の理解度を確保するための中間目標として11月の日商簿記検定1級にチャレンジします。簿記検定以降は、「企業法」を加えた3科目を並行して学習していきます。また、学習の進捗状況が特に進んでいると認められた受講生を対象に、「理論科目先行学習制度」を設けています(選抜制)。この制度を利用すれば、通常の講座で学習する計算科目と並行して理論科目の学習に取り組むことで、より早期の公認会計士試験合格が可能となります。

Schedule スケジュール(予定)



■ 早期合格に向けたムダのない学習!

- POINT 01 試験により受講生を選抜**
6月以降の講座の受講には、6月に実施する「受講継続者認定試験」の合格が必須となります。この試験は日商簿記検定2級レベルに加え、5月までに学習した内容から問題を出題します。
- POINT 02 経済的サポート制度**
会計士入門講座(会計士コース・簿記コース)と同様に、「奨励生制度」を設けています。奨励生に選ばれると、2年目の会計士上級講座の費用負担が軽減されます。
- POINT 03 日商簿記検定1級取得者への特別カリキュラム**
大学入学時に日商簿記検定1級をすでに取得している人には、2年次での公認会計士試験合格を目指したカリキュラムを提供します。
- POINT 04 学習の進捗状況で最短2年次合格可能**
余力がある人には、通常の講義に加えて理論科目(財務会計論理論・監査論・企業法)対策も並行して行います。これにより、最短で2年次での合格が可能になります。
※理論科目対策は、別途追加受講料が必要となります。詳しくはガイダンスでお知らせします。

簿記の知識を活かし、
早めの試験対策ができます。

高校で取得した日商簿記2級を活かせる公認会計士を目指し、サポート体制や在学中の合格実績が魅力の専修大学に入学しました。「選抜個別コース」は1年次の11月に日商簿記1級の合格も可能な講座で、講義は学部の授業と重複する内容が多いため効率良く勉強できます。また、大原学園の先生にメールで質問でき、講義動画も配信されているため、分からない部分を曖昧なままにせず進めることができます。現在は理論科目の先行学習制度で、2年次5月の短答式試験合格を目指しています。将来はコンサルティング業務やアドバイザー業務を行う公認会計士になりたいです。選抜個別コースでは、入学時から公認会計士試験科目の学習を始めるため、初めて簿記を学ぶ人よりも早く試験勉強を開始でき、簿記経験者の仲間と切磋琢磨しながら勉強することができます。ぜひ会計士講座で私たちと一緒に公認会計士を目指しましょう!

会計士入門講座受講生

商学部 会計学科
(長野・長野商業高校出身)

小林 由佳さん(1年)



2年目 About the 2nd year curriculum

会計士上級講座

苦しみは、より価値ある自分をつくる。

Information(予定)

- 開講場所 大原学園各校舎
- 開講期間 2月下旬～翌年8月中旬
- 受講料(20名程度が奨励生として選ばれます)
上級:592,000円 上級(奨励生):99,000円~400,000円
[参考:大原一般価格 770,000円]

※奨励生の通学校舎は、大原学園東京水道橋校に限定します。また、受講コースは「1.5年オータム初学者合格コース」に限定します。※生田校舎の上級講座受講生(奨励生含む)が大原学園に通う場合、通学定期券を購入するための通学証明書は発行できません。※一旦納入した受講料はどのような理由があっても返金できません。※2年目以降の受講料は変更となる場合があります。※奨励生の受講料は、成績により段階的に設定します。

合格者への経済サポート!

在学中の短答式試験及び論文式試験合格者は、指定試験奨励生の対象となります。(審査を経て短答式合格者には100,000円、論文式合格者には300,000円が支給されます。【2023年度実績】)

会計士上級講座カリキュラム

大原学園に通学し、「1.5年オータム初学者合格コース」または「1.5年ウィンター初学者合格コース」を受講して、12月の短答式試験、翌年8月の論文式試験合格を目指します。なお、1年目の「会計士入門講座」で奨励生に選抜された受講生の受講料の一部を大学が補助しますので、費用面の負担が軽減されます。また、公認会計士試験は日商簿記検定1級と試験範囲が重なるため、受講期間中に簿記1級を取得することも可能です。

■ 大原学園の充実したカリキュラムを受講!

- POINT 01** 3年次での公認会計士試験合格を目指します。
※選抜個別コース受講生は、努力次第で2年次合格も可能です。
- POINT 02** 奨励生は、費用負担が軽減されます。
- POINT 03** 受講期間中に日商簿記検定1級を取得することも可能です。

フォローアップ Extra program

会計士特別プログラム

ハイレベルな環境で合格ヘラストスパート!

Information(予定)

- 開講場所 大原学園東京水道橋校
- 開講期間 11月下旬～翌年8月中旬
- 定員 若干名
- 受講料 93,000円
- 受講条件 3年次生以下の短答式試験合格者

※一旦納入した受講料はどのような理由があっても返金できません。※受講料は変更となる場合があります。

会計士特別プログラムカリキュラム

在学中に論文式試験に合格するために必要な実力を養成する講座です。短答式試験に合格している3年次生以下を対象とし、大原学園東京水道橋校の「上級論文総合合格コース」で論文式試験に出題される科目を学習し、翌年8月の論文式試験合格を目指します。

■ 論文式試験に向けて徹底的にサポート!

- POINT 01** 短答式試験に合格している3年次生以下を対象とし、在学中の論文式試験(公認会計士試験最終試験)合格を目指します。
- POINT 02** 論文式試験(会計学、監査論、企業法、租税法、選択科目)の学習を大原学園東京水道橋校で行います。



3年次合格者

商学部 会計学科3年
(東京・墨田川高校出身)

山方 裕貴さん

魅力が多く挑戦する価値がある

専修大学の会計士講座は、簿記や会計を勉強したことがなくても、合格できる体制が整っています。私の周りにも公認会計士を本気で目指す人たちがいて、勉強に打ち込むことができました。受験勉強は正直つらく、投げ出して遊びたくなる時もあります。しかし、公認会計士の魅力も多く、覚悟を決めて挑戦する価値はあると感じました。大学に入学した後は、勉強やアルバイト、サークル、ボランティアなど様々なことを経験できる機会があり、各々がやりたいことの想像を膨らませていると思います。その中に、「公認会計士を目指して、仲間と共に切磋琢磨しながら勉強する」という選択肢も候補に入れてみてはいかがですか。



3年次合格者

商学部 会計学科3年
(千葉・習志野市立習志野高校出身)

土屋 力さん

受験仲間が作りやすい環境

私は将来について考えた時に、自分の強い分野を使って活躍していきたいと考えました。そのためには、ニーズのある知識を身につけ市場価値の高い人材になる必要があります。その点、会計は企業の基盤でありとてもニーズが高いと思い、公認会計士を目指しました。専修大学では、試験に合格すれば奨学金が給付されます。このような制度は他大学ではあまりなく、大学が公認会計士を目指す学生の支援に力を入れている特長だと思います。また、公認会計士を目指している人が多いため、受験仲間も作りやすいと思います。つらい受験も友達がいれば9割減になるため、専修大学に入学し一緒に公認会計士を目指してみたいかがでしょうか。



3年次合格者

商学部 会計学科3年
(長野・松商学園高校出身)

押澤 蓮さん

会計以外のフィールドでも活躍可能

公認会計士は、将来の目標が定まっていない人ほど目指してもらいたい資格です。なぜなら、公認会計士の仕事は独占業務としての会計監査だけでなく、コンサルティングや税務業務など多岐に渡っているからです。また、公認会計士は監査業務を通じて幅広い業種の企業を深くみることができ、そこで得た知見を生かして、会計以外のフィールドで活躍することも可能です。かくいう私も将来のビジョンが明確になっていなかったため、将来の選択肢が多様にある公認会計士を志しました。将来は会計の分野だけにこだわらず、自分がやりたいと思ったことに積極的に挑戦していこうと考えています。



3年次合格者

商学部 会計学科3年
(東京・専修大学附属高校出身)

大谷 迅人さん

日頃の努力が必ず報われる試験

私は専修大学に入学してから初めて簿記の勉強を始めました。最初は公認会計士という難関資格を取得できるか不安でしたが、大学が大原学園と提携しているので、大学と大原の2つの手厚いサポートを受けることができます。2年目の会計士上級講座に進むにあたり、奨励生試験があります。その試験で奨励生になれなかったとしても、決して諦めないでください。私も奨励生ではありませんでしたが、大学や大原のサポートのおかげで合格することができました。奨励生ではなくても日頃の努力が必ず報われる試験なので、毎日コツコツ頑張っていくことが大事です。現在は大手監査法人から内定を頂いているので、この会計士講座を受講してよかったと思っています。



3年次合格者

商学部 会計学科3年
(東京・保善高校出身)

古山 明城さん

簿記未経験でも合格できる講座

大学入学当初、私はやりたいことがなく何か新しいことに挑戦したいと考えていました。そんな時に会計士講座があることを知り、簿記の学習を始めました。簿記の学習は全くの未経験でしたが、この講座や大原学園の講師のおかげで順調に学習を進めることができ、在学中に公認会計士試験に合格することができました。受験勉強中はつらい事もありましたが、今では挑戦して正解だったと実感しています。私は専修大学に入学したことがきっかけとなり、公認会計士試験に合格することができました。皆さんも公認会計士を目指す環境が整っている専修大学で、ぜひ挑戦してみてください。



4年次合格者

経済学部 生活環境経済学科4年
(群馬・高崎健康福祉大学高崎高校出身)

小林 蓮太さん

講師による熱心な指導

私は高校時代スポーツコースに所属しており、受験の経験もなく、勉強に苦手意識がありました。しかし、そんな私でも難関資格である公認会計士試験に合格することができました。これは、専修大学の会計士講座のおかげです。専修大学の会計士講座は大原学園と提携しており、講師が熱心に指導してくれます。また、会計士講座を通じて多くの受験仲間と出会うことができ、楽しく勉強することができます。大学生は自由に使える時間がとても多いです。その時間を何に使うかは自由ですが、大きな挑戦をすることに時間を使うことは今後の人生において必ず財産になります。大学で何かに挑戦したい方には会計士講座を受講することをおすすめします。



4年次合格者

商学部 会計学科4年
(千葉・専修大学松戸高校出身)

杉森 将貴さん

充実した学習環境

私は、簿記の勉強が未経験でも在学中に合格することができる会計士講座があるということを知り、専修大学への進学を決意しました。実際に、合格するための環境が十分に整っていたため進学して良かったと感じています。会計士講座では、同じ志を持った仲間たちと切磋琢磨しながら勉強することができ、大原学園の講師が親身になって合格まで導いてくれます。また、上級講座から大原学園に通学しますが、神田校舎のすぐ近くに位置しているため大学の授業との両立がしやすかったです。難しい試験ではありますが、合格すれば今後の人生を大きく変えることができます！皆さんもぜひ挑戦してみてください！



4年次合格者

商学部 会計学科4年
(東京・朋優学院高校出身)

大久保 吾叶夢さん

計算科目の内容が充実

私は社会人になる前に武器になる資格を持ちたいと考え、公認会計士を目指しました。専修大学に入学し、日商簿記3級の勉強を始めてから簿記が楽しいと感じ、会計系試験で最難関である公認会計士試験を意識するようになりました。専修大学では、大原学園と提携しており、サポートが手厚いため、すぐに会計士講座の学習に着手できました。特に計算科目の内容が充実しており、他の予備校よりアドバンテージが取れると感じました。繰り返し答案練習を行うことによって自信をつけ、自身の苦手なところを一つずつ無くしていくことが合格を勝ち取るために必要なことだと思いました。公認会計士への道のりはつらいですが、その先に明るい未来が待っているはずですよ！



4年次合格者

商学部 会計学科4年
(東京・朋優学院高校出身)

江頭 輝元さん

学習面・費用面での充実したサポート体制

私は大学在学中に公認会計士試験を突破するため、会計士講座がある専修大学に入学しました。会計士講座には学習面及び奨励生制度等による費用面での充実したサポート体制があります。そのため、大学入学時に簿記初学者である私でも、費用面で過度な心配をすることなく勉強に打ち込むことができ、その結果として在学中合格を掴み取ることができました。私が公認会計士を目指したきっかけは、高校の社会人講座で出会った公認会計士の話を聞き、その業務に興味を持ったことです。公認会計士に少しでも興味を持った皆さんも、ぜひ会計士講座を受講し、試験に挑戦してみてください。



4年次合格者

商学部 会計学科4年
(神奈川・平塚中等教育学校出身)

小柳 秀登さん

幅広い業務で将来の選択肢が豊富

私は大学生になってから簿記を初めて学び、公認会計士を目指しました。専修大学は実績のある大原学園と提携した会計士講座を開講していて、初学者でも努力を継続すれば、公認会計士試験に合格できる力を身につけることが可能です。私は無事合格できましたが、合格で満足せずに、既に内定をもらっている大手監査法人で日々努力し、専門的知識を使って社会に貢献できる公認会計士になれるよう頑張りたいと思っています。公認会計士は監査だけでなく、アドバイザー、税務などといった業務にも携われる機会があり、将来の選択肢が豊富にあります。ぜひ、皆さんも公認会計士を目指しませんか？

今こそ！

専大で**会計士**を目指そう！

過去5年間の本学合格者のうち

50%超が在學生！

在學生合格者

52名

本学合格者

103名

専修大学公認会計士試験合格者実績

2023年度	29名 (11名)
2022年度	21名 (11名)
2021年度	17名 (9名)
2020年度	12名 (8名)
2019年度	24名 (13名)

※掲載の数字はエクステンションセンター調べです。※()内的人数は在學生合格者数です。